

NBストラテジック・ インカム・ファンド〈ラップ〉

米ドルコース 円コース 世界通貨分散コース

運用報告書(全体版) 第10期

(決算日 2019年11月18日)
(作成対象期間 2019年5月17日～2019年11月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての複数種別の債券等に投資するとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3247>
<3248>
<3249>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	約10年間(2014年11月28日～2024年11月15日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド(※)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 (※)は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「米ドルコース」の場合…ノンヘッジ/N1クラス 「円コース」の場合…円ヘッジ/N1クラス 「世界通貨分散コース」の場合…通貨分散/N1クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

米ドルコース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落	中 率			
6 期 末 (2017年11月16日)	円 9,851	円 0		% 0.4	% —	% 98.7	百万円 127
7 期 末 (2018年 5月16日)	9,484	0	△	3.7	—	98.0	122
8 期 末 (2018年11月16日)	9,528	0		0.5	—	98.6	103
9 期 末 (2019年 5月16日)	9,582	0		0.6	—	99.4	90
10期 末 (2019年11月18日)	9,703	0		1.3	—	98.5	86

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

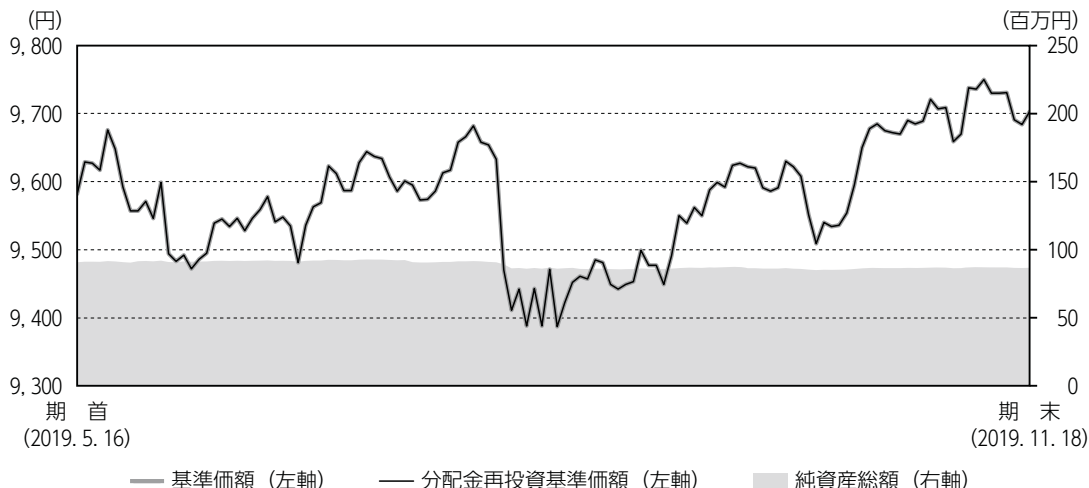
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,582円

期末：9,703円（分配金0円）

騰落率：1.3%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し運用した結果、保有債券の価格の上昇（債券利回りの低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 米ドルコース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2019年5月16日	9,582	—		—			99.4
5月末	9,599	0.2		—			99.3
6月末	9,563	△ 0.2		—			99.0
7月末	9,658	0.8		—			98.5
8月末	9,499	△ 0.9		—			99.2
9月末	9,630	0.5		—			99.2
10月末	9,709	1.3		—			98.5
(期 末) 2019年11月18日	9,703	1.3		—			98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 17 ~ 2019. 11. 18)

■ 米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首から2019年6月にかけては、世界的な景気悪化観測の高まりやF R B（米国連邦準備制度理事会）による緩和的な政策姿勢、米中貿易摩擦の深刻化への懸念などから、金利は低下基調となりました。7月はおおむねボックス圏で推移したものの、8月に入ると、米国による新たな対中関税の発表を契機とした米中貿易摩擦への懸念の高まりが投資家のリスク回避の動きにつながり、金利は一段と低下しました。9月以降は、一進一退を繰り返しつつも米中通商協議の進展期待などから投資家のリスク回避姿勢は緩和し、金利は上昇基調で当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2019年6月にかけては、米中貿易摩擦の深刻化への懸念が広がったことなどから、円高米ドル安が進行しました。7月は米中首脳会談で関税率引き上げの先送りが決定されたことなどをを受けて米ドルがいったん買い戻されましたが、8月に入ると再び米中貿易摩擦が激化したことで、米ドルは対円で一段安となりました。9月以降は、投資家のリスク回避姿勢が緩和し、米ドルは対円で上昇基調となって当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 17 ~ 2019. 11. 18)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2019年5月17日 ～2019年11月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	371

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 5. 17~2019. 11. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0.237%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,578円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.028)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.241	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

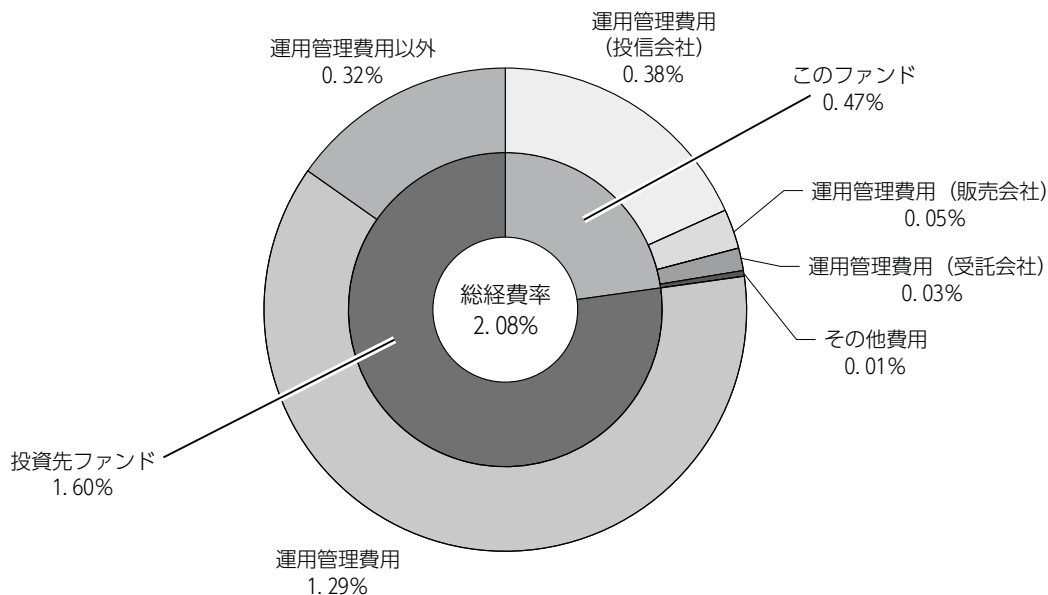
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.08%
①このファンドの費用の比率	0.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.32%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年5月17日から2019年11月18日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 7.99182	千円 1,000	千口 56.1193	千円 7,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年5月17日から2019年11月18日まで)

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 7.99182	千円 1,000	円 125	NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 56.1193	千円 7,000	円 124

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS	千口 672.03779	千円 85,471	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 85,471	% 98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	1,494	1.7
投資信託財産総額	86,966	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	86,966,507円
コール・ローン等	1,494,399
投資信託受益証券（評価額）	85,471,110
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	998
(B) 負債	213,764
未払信託報酬	210,148
その他未払費用	3,616
(C) 純資産総額（A－B）	86,752,743
元本	89,406,863
次期繰越損益金	△ 2,654,120
(D) 受益権総口数	89,406,863口
1万口当り基準価額（C／D）	9,703円

* 期首における元本額は94,746,644円、当作成期間中における追加設定元本額は1,493,957円、同解約元本額は6,833,738円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,703円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,654,120円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,745,099
(d) 分配準備積立金	1,573,029
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,318,128
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	3,318,128
(h) 受益権総口数	89,406,863口

■損益の状況

当期 自2019年5月17日 至2019年11月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 205円
受取利息	9
支払利息	△ 214
(B) 有価証券売買損益	1,306,082
売買益	1,359,877
売買損	53,795
(C) 信託報酬等	△ 213,764
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,092,113
(E) 前期繰越損益金	△ 115,380
(F) 追加信託差損益金	△ 3,630,853
(配当等相当額)	(1,745,099)
(売買損益相当額)	(△ 5,375,952)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 2,654,120
次期繰越損益金（G）	△ 2,654,120
追加信託差損益金	△ 3,630,853
(配当等相当額)	(1,745,099)
(売買損益相当額)	(△ 5,375,952)
分配準備積立金	1,573,029
繰越損益金	△ 596,296

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

円コース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率			
6 期 末 (2017年11月16日)	円 9,963		円 0	△	0.0	% —	% 99.4	百万円 549
7 期 末 (2018年 5月16日)	9,717		0	△	2.5	—	98.8	581
8 期 末 (2018年11月16日)	9,383		0	△	3.4	—	99.5	521
9 期 末 (2019年 5月16日)	9,593		0		2.2	—	98.6	527
10期末 (2019年11月18日)	9,641		0		0.5	—	98.7	534

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

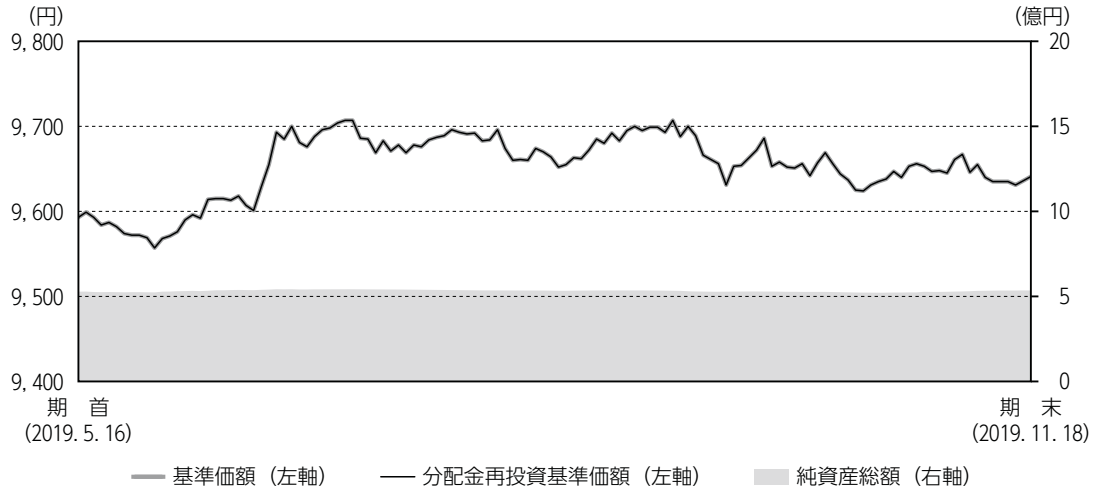
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,593円

期末：9,641円（分配金0円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、保有債券の価格の上昇（債券利回りの低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率						
(期 首) 2019年5月16日	9,593	—		—				98.6
5月末	9,568	△ 0.3		—				98.4
6月末	9,688	1.0		—				99.0
7月末	9,683	0.9		—				98.8
8月末	9,695	1.1		—				99.5
9月末	9,652	0.6		—				99.1
10月末	9,645	0.5		—				99.2
(期 末) 2019年11月18日	9,641	0.5		—				98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 17 ~ 2019. 11. 18)

■ 米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首から2019年6月にかけては、世界的な景気悪化観測の高まりやF R B（米国連邦準備制度理事会）による緩和的な政策姿勢、米中貿易摩擦の深刻化への懸念などから、金利は低下基調となりました。7月はおおむねボックス圏で推移したものの、8月に入ると、米国による新たな対中関税の発表を契機とした米中貿易摩擦への懸念の高まりが投資家のリスク回避の動きにつながり、金利は一段と低下しました。9月以降は、一進一退を繰り返しつつも米中通商協議の進展期待などから投資家のリスク回避姿勢は緩和し、金利は上昇基調で当作成期末を迎えました。

■ 短期金利市況

短期金利市況は、日本では日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。

一方、米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 17 ~ 2019. 11. 18)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2019年5月17日 ～2019年11月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	230

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 5. 17~2019. 11. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0. 237%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 653円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0. 028)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	23	0. 241	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

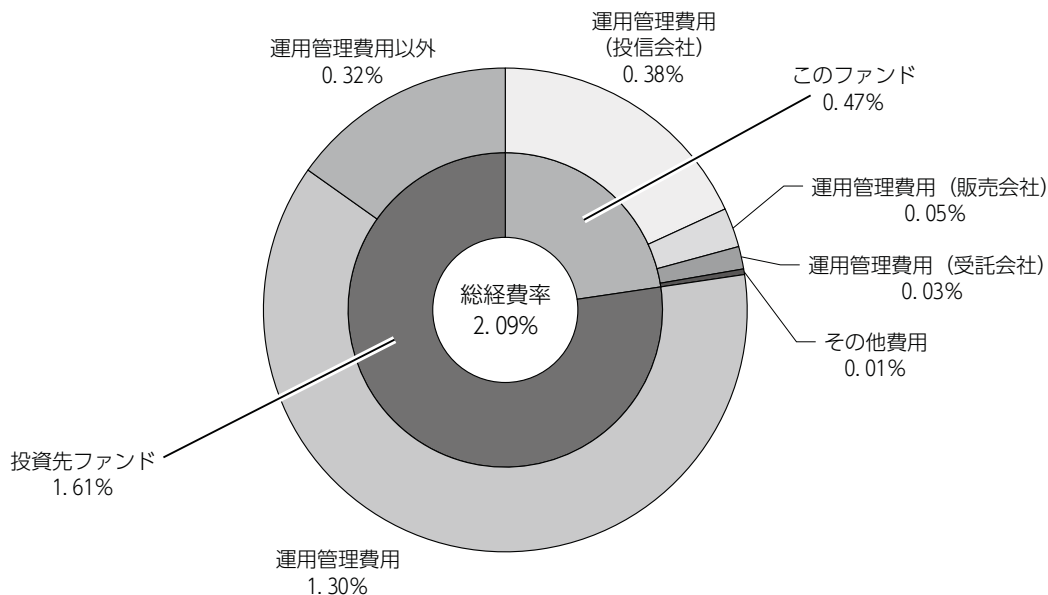
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



総経費率 (① + ② + ③)	2.09%
①このファンドの費用の比率	0.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.30%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.32%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2019年5月17日から2019年11月18日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 238.98577	千円 25,000	千口 209.26191	千円 22,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年5月17日から2019年11月18日まで)

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 238.98577	千円 25,000	円 104	NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 209.26191	千円 22,000	円 105

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N1 CLASS	千口 5,027.17292	千円 527,445	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 527,445	% 98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	9,594	1.8
投資信託財産総額	537,041	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	542,041,906円
コール・ローン等	4,594,953
投資信託受益証券（評価額）	527,445,956
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	998
未収入金	9,999,999
(B) 負債	7,592,283
未払金	5,000,000
未払解約金	1,307,757
未払信託報酬	1,262,296
その他未払費用	22,230
(C) 純資産総額（A－B）	534,449,623
元本	554,375,533
次期繰越損益金	△ 19,925,910
(D) 受益権総口数	554,375,533口
1万口当り基準価額（C/D）	9,641円

* 期首における元本額は550,140,770円、当作成期間中における追加設定元本額は38,955,683円、同解約元本額は34,720,920円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,641円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は19,925,910円です。

■損益の状況

当期 自2019年5月17日 至2019年11月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,657円
受取利息	67
支払利息	△ 1,724
(B) 有価証券売買損益	3,766,824
売買益	3,991,550
売買損	△ 224,726
(C) 信託報酬等	△ 1,284,539
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	2,480,628
(E) 前期繰越損益金	△ 10,657,954
(F) 追加信託差損益金	△ 11,748,584
(配当等相当額)	(9,357,733)
(売買損益相当額)	(△ 21,106,317)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 19,925,910
次期繰越損益金（G）	△ 19,925,910
追加信託差損益金	△ 11,748,584
(配当等相当額)	(9,357,733)
(売買損益相当額)	(△ 21,106,317)
分配準備積立金	3,436,346
繰越損益金	△ 11,613,672

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	9,357,733
(d) 分配準備積立金	3,436,346
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	12,794,079
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	12,794,079
(h) 受益権総口数	554,375,533口

世界通貨分散コース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落	中 率			
6 期 末 (2017年11月16日)	円 9,062	円 0		% 1.6	% —	% 99.2	百万円 16
7 期 末 (2018年 5月16日)	8,640	0	△	4.7	—	99.4	13
8 期 末 (2018年11月16日)	8,391	0	△	2.9	—	99.6	13
9 期 末 (2019年 5月16日)	8,435	0		0.5	—	98.1	13
10期 末 (2019年11月18日)	8,574	0		1.6	—	98.4	13

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,435円

期末：8,574円（分配金0円）

騰落率：1.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざし運用を行った結果、保有債券の価格の上昇（債券利回りの低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 世界通貨分散コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率							
(期 首) 2019年5月16日	円 8,435	% —		% —				% 98.1
5月末	8,438	0.0		—				98.1
6月末	8,547	1.3		—				98.2
7月末	8,582	1.7		—				98.3
8月末	8,219	△ 2.6		—				98.2
9月末	8,416	△ 0.2		—				98.3
10月末	8,613	2.1		—				98.4
(期 末) 2019年11月18日	8,574	1.6		—				98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 5. 17 ~ 2019. 11. 18)

■ 米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首から2019年6月にかけては、世界的な景気悪化観測の高まりやF R B（米国連邦準備制度理事会）による緩和的な政策姿勢、米中貿易摩擦の深刻化への懸念などから、金利は低下基調となりました。7月はおおむねボックス圏で推移したものの、8月に入ると、米国による新たな対中関税の発表を契機とした米中貿易摩擦への懸念の高まりが投資家のリスク回避の動きにつながり、金利は一段と低下しました。9月以降は、一進一退を繰り返しつつも米中通商協議の進展期待などから投資家のリスク回避姿勢は緩和し、金利は上昇基調で当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

当作成期における分散通貨（※1）の値動きは、対円でまちまちな動きとなりました。

米ドル、豪ドル、ユーロ、英ポンド、インド・ルピー、中国・人民元、ブラジル・リアル、メキシコ・ペソは対円で下落しました。一方で、カナダ・ドル、インドネシア・ルピア、韓国ウォン、ロシア・ルーブルは対円で上昇しました。

※1 分散通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引等の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■ 短期金利市況

米ドル以外の選定した通貨の短期金利については、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル、韓国ウォン、豪ドルは米ドルの短期金利をおおむね下回る水準で推移しました。その他の通貨については、米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※2）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等（※2）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

*流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

※2 国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

ポートフォリオについて

(2019. 5. 17 ~ 2019. 11. 18)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

また、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざしました。取引対象通貨においては、先進国通貨と新興国通貨の中から各国の経済規模や通貨の流動性等を考慮し、12通貨を選定し、運用を行いました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2019年5月17日 ～2019年11月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

*流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 5. 17~2019. 11. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0. 237%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 444円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0. 240	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

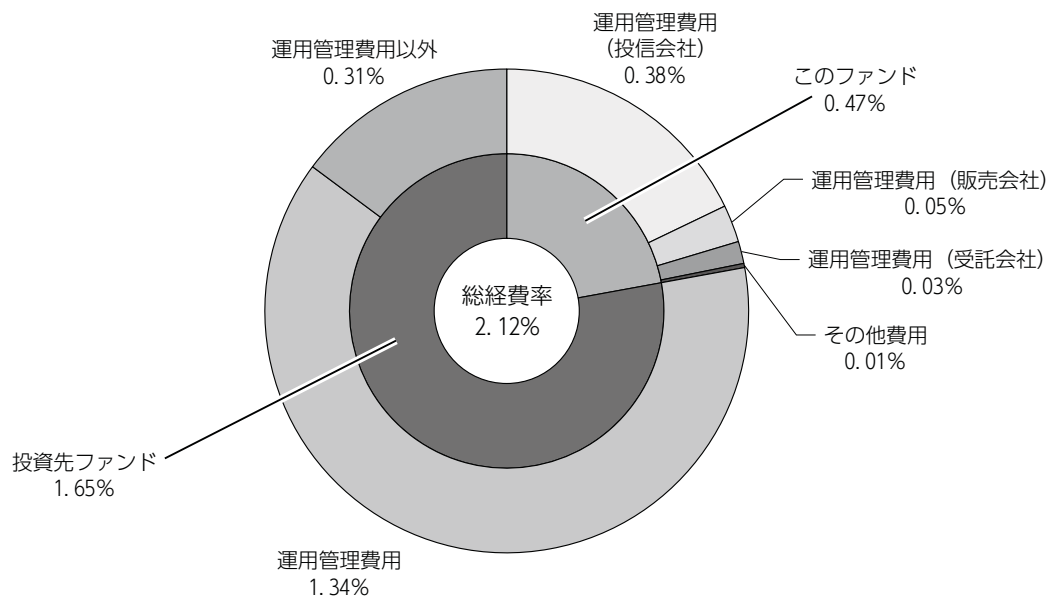
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.12%
①このファンドの費用の比率	0.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.31%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

当作成期における売買および取引の状況はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
12	—	—	12	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N1 CLASS	149.81182	13,233	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13,233	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	247	1.8
投資信託財産総額	13,482	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,482,428円
コール・ローン等	247,504
投資信託受益証券(評価額)	13,233,926
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	31,777
未払信託報酬	31,326
その他未払費用	451
(C) 純資産総額(A-B)	13,450,651
元本	15,687,257
次期繰越損益金	△ 2,236,606
(D) 受益権総口数	15,687,257口
1万口当り基準価額(C/D)	8,574円

* 期首における元本額は15,687,257円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,574円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,236,606円です。

■損益の状況

当期 自2019年5月17日 至2019年11月18日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	250,935円
売買益	250,935
(B) 信託報酬等	△ 31,777
(C) 当期損益金 (A + B)	219,158
(D) 前期繰越損益金	△ 1,053,955
(E) 追加信託差損益金	△ 1,401,809
(売買損益相当額)	(△) 1,401,809
(F) 合計 (C + D + E)	△ 2,236,606
次期繰越損益金 (F)	△ 2,236,606
追加信託差損益金	△ 1,401,809
(売買損益相当額)	(△) 1,401,809
繰越損益金	△ 834,797

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	15,687,257口

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド
 (ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)

当ファンド (NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース) はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド (ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

(注) 2019年11月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

(米ドル建て)

貸借対照表
 2019年2月28日

資産

投資資産の評価額 (簿価 \$20,700,581)	\$ 20,478,199
現金	171
外国為替先渡契約による評価益	7,605
未収:	
売却済みの投資 (繰延受渡)	180,562
利息	90,971
先物取引に係る未収変動証拠金	14,084
資産合計	20,771,592

負債

外国為替先渡契約による評価損	93,968
スワップ契約による評価損	33
未払:	
購入済みの投資 (繰延受渡)	3,599,879
購入済みの投資	939
専門家報酬	61,084
保管会社報酬	19,045
運用会社報酬	15,727
会計および管理会社報酬	10,954
名義書換代理人報酬	1,867
為替取引執行会社報酬	348
為替運用会社報酬	86

その他負債	930
負債合計	3,804,860

純資産	\$ 16,966,732
------------	----------------------

純資産

通貨セレクトクラス	\$ 703,314
通貨分散／N1クラス	120,305
円ヘッジクラス	7,560,838
円ヘッジ／N1クラス	4,779,919
ノンヘッジクラス	2,078,185
ノンヘッジ／N1クラス	1,724,171
	\$ 16,966,732

発行済み受益証券口数

通貨セレクトクラス	1,363,461
通貨分散／N1クラス	150,921
円ヘッジクラス	10,408,570
円ヘッジ／N1クラス	5,133,312
ノンヘッジクラス	1,910,395
ノンヘッジ／N1クラス	1,523,633

受益証券1口当り純資産額

通貨セレクトクラス	\$ 0.516
通貨分散／N1クラス	\$ 0.797
円ヘッジクラス	\$ 0.726
円ヘッジ／N1クラス	\$ 0.931
ノンヘッジクラス	\$ 1.088
ノンヘッジ／N1クラス	\$ 1.132

損益計算書

2019年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息（源泉徴収税 \$8,230 控除後）	\$	498,842
配当収益（源泉徴収税 \$115,970 控除後）		270,597
投資収益合計		769,439

費用

運用会社報酬		108,093
保管会社報酬		78,023
専門家報酬		59,616
会計および管理会社報酬		45,001
受託会社報酬		15,807
名義書換代理人報酬		11,034
為替取引執行会社報酬		1,510
為替運用会社報酬		1,332
登録料		886
費用合計		321,302

投資純利益

448,137

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損）：

証券投資	(56,747)
先物取引	(164,394)
スワップ契約	8,926
外国為替取引および外国為替先渡契約	(696,269)
純実現益（損）	(908,484)

評価益（損）の純変動：

証券投資	(315,084)
スワップ契約	(17,290)
先物取引	56,886
外国為替換算および外国為替先渡契約	(480,753)
評価益（損）の純変動	(756,241)

純実現益（損）および評価益（損）の純変動

(1,664,725)

運用による純資産の純減

\$ (1,216,588)

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

(米ドル建て)

投資明細表 2019年2月28日

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
		債券 (87.0%)				Petroleos Mexicanos		
		オーストラリア (0.6%)			USD 45,000	6.50% due 2027/3/13		43,448
		社債 (0.6%)				社債合計		<u>135,633</u>
		Westpac Banking Corp. (a), (b), (c)				メキシコ合計 (簿価 \$146,929)		<u>135,633</u>
USD	115,000	5.00% due 2049/12/31		\$ 101,394		スペイン (0.3%)		
		社債合計		<u>101,394</u>		社債 (0.3%)		
		オーストラリア合計 (簿価 \$115,000)		<u>101,394</u>	USD 50,000	Banco Santander S. A.		
		カナダ (0.2%)				3.80% due 2028/2/23		46,954
		社債 (0.2%)				社債合計		<u>46,954</u>
		Canadian Natural Resources, Ltd. (a)				スペイン合計 (簿価 \$50,223)		<u>46,954</u>
USD	30,000	4.95% due 2047/6/1		31,233		英国 (1.9%)		
		社債合計		<u>31,233</u>		社債 (1.9%)		
		カナダ合計 (簿価 \$29,932)		<u>31,233</u>	USD 90,000	AstraZeneca PLC (a)		
		デンマーク (2.1%)				3.50% due 2023/8/17		90,462
		社債 (2.1%)				HSBC Holdings PLC (a), (b), (c)		
		Jyske Realkredit AS			USD 120,000	6.00% due 2049/12/31		116,850
DKK	1,073,000	2.00% due 2047/10/1		166,379		Nationwide Building Society (a), (b), (d)		
		Nykredit Realkredit AS			USD 35,000	4.30% due 2029/3/8		34,155
DKK	1,250,000	2.00% due 2047/10/1		195,113		Royal Bank of Scotland Group PLC (a), (b)		
		社債合計		<u>361,492</u>	USD 30,000	5.08% due 2030/1/27		30,850
		デンマーク合計 (簿価 \$359,391)		<u>361,492</u>		Vodafone Group PLC		
		アイルランド (1.9%)			USD 55,000	3.75% due 2024/1/16		54,818
		社債 (1.9%)				社債合計		<u>327,135</u>
		AerCap Ireland Capital DAC / AerCap Global Aviation Trust (a)				英国合計 (簿価 \$327,499)		<u>327,135</u>
USD	150,000	4.45% due 2025/10/1		148,528		米国 (79.2%)		
		Shire Acquisitions Investments Ireland DAC (a)				資産担保証券 (15.9%)		
USD	80,000	2.40% due 2021/9/23		78,189	USD 200,000	Chase Issuance Trust Series 2016-A 2 Class A		199,265
USD	95,000	3.20% due 2026/9/23		89,345		1.37% due 2021/6/15		
		社債合計		<u>316,062</u>		COMM Mortgage Trust Series 2013-LC 6 Class XB (b), (d)		
		アイルランド合計 (簿価 \$313,913)		<u>316,062</u>	USD 4,000,000	0.33% due 2046/1/10		53,040
		メキシコ (0.8%)				COMM Mortgage Trust Series 2014-CR17 Class XA (b)		
		社債 (0.8%)			USD 1,347,169	1.05% due 2047/5/10		52,302
		Grupo Bimbo SAB de CV (a)				COMM Mortgage Trust Series 2014-UBS 3 Class XA (b)		
USD	100,000	4.70% due 2047/11/10		92,185				

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD 1,220,927	1.26% due 2047/6/10 Federal Home Loan Mortgage Corp. Structured Agency Credit Risk Debt Notes Series 2017-DNA 1 Class M 2 (a), (b)		50,235		Morgan Stanley Bank of America Merrill Lynch Trust Series 2014-C16 Class XA (b)		
				USD 1,428,092	1.11% due 2047/6/15 RAAC Trust Series 2006-SP 2 Class M 1 (a), (b)		52,538
USD 250,000	5.74% due 2029/7/25 Federal Home Loan Mortgage Corp. Structured Agency Credit Risk Debt Notes Series 2017-DNA 2 Class M 2 (a), (b)		268,201	USD 173,262	2.83% due 2036/2/25 RAMP Trust Series 2005-RZ 2 Class M 4 (a), (b)		172,249
				USD 205,930	3.05% due 2035/5/25 Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2006-AM 1 Class A 4 (a), (b)		205,766
USD 250,000	5.94% due 2029/10/25 Federal Home Loan Mortgage Corp. Structured Agency Credit Risk Debt Notes Series 2017-DNA 3 Class M 2 (a), (b)		271,228				
				USD 56,397	2.65% due 2036/4/25 Toyota Auto Receivables Owner Trust Series 2018-B Class A 2 A (a)		56,222
USD 250,000	4.99% due 2030/3/25 Federal National Mortgage Association Connecticut Avenue Securities Series 2017-C03 Class 1 M 2 (a), (b)		258,084	USD 190,064	2.64% due 2021/3/15 Verizon Owner Trust Series 2017-1 A Class A (a), (d)		190,025
				USD 300,000	2.06% due 2021/9/20 World Omni Auto Receivables Trust Series 2019-A Class A 3 (a)		298,854
USD 130,000	5.49% due 2029/10/25 Federal National Mortgage Association Connecticut Avenue Securities Series 2017-C05 Class 1 M 2 (a), (b)		138,303	USD 115,000	3.04% due 2024/5/15		115,355
					資産担保証券合計		2,692,157
					社債 (21.4%)		
USD 75,000	4.69% due 2030/1/25 GM Financial Consumer Automobile Receivables Trust Series 2018-1 Class A 2 A (a)		76,454	USD 65,000	4.70% due 2045/5/14 Anheuser-Busch Cos. LLC / Anheuser-Busch InBev Worldwide, Inc. (a), (d)		59,543
				USD 45,000	4.70% due 2036/2/1 Anheuser-Busch InBev Worldwide, Inc. (a)		43,439
USD 118,852	2.08% due 2021/1/19 GS Mortgage Securities Trust Series 2014-GC18 Class XA (b)		118,629	USD 40,000	4.60% due 2048/4/15		36,838
				USD 90,000	4.75% due 2058/4/15		81,884
USD 1,231,443	1.03% due 2047/1/10 Home Equity Asset Trust Series 2005-1 Class M 5 (a), (b)		50,722	USD 140,000	5.80% due 2059/1/23 Apple, Inc. (a)		149,333
				USD 25,000	4.65% due 2046/2/23 AT&T, Inc. (a)		26,950

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額		元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD	50,000	4.50% due 2048/3/9		44,442	USD	130,000	3.81% due 2029/4/23 (a), (b)		126,372
USD	110,000	5.45% due 2047/3/1 AXA Equitable Holdings, Inc. (a)		111,795	USD	65,000	4.02% due 2038/10/31 (a), (b)		60,023
USD	65,000	5.00% due 2048/4/20 Bank of America Corp. (a), (b)		60,759	USD	45,000	5.15% due 2045/5/22 HCA, Inc. (a)		45,298
USD	75,000	2.74% due 2022/1/23		74,410	USD	60,000	5.25% due 2026/6/15 Hewlett Packard Enterprise Co. (a)		63,281
USD	65,000	3.71% due 2028/4/24		64,143	USD	70,000	3.60% due 2020/10/15 JPMorgan Chase & Co. (a), (b)		70,373
USD	50,000	3.97% due 2029/3/5 BAT Capital Corp. (a)		50,142	USD	55,000	3.88% due 2038/7/24		52,150
USD	105,000	4.54% due 2047/8/15 Cigna Corp. (a), (d)		84,762	USD	80,000	4.01% due 2029/4/23 Kinder Morgan Energy Partners LP (a)		80,855
USD	55,000	4.80% due 2038/8/15 Citigroup, Inc. (a), (b)		54,649	USD	75,000	4.15% due 2024/2/1 Kinder Morgan, Inc. (a)		76,646
USD	40,000	3.52% due 2028/10/27		38,787	USD	80,000	5.55% due 2045/6/1 Kroger Co. (a)		83,951
USD	95,000	3.89% due 2028/1/10 Comcast Corp. (a)		94,646	USD	55,000	5.40% due 2049/1/15 Marathon Oil Corp. (a)		54,204
USD	35,000	4.00% due 2047/8/15		32,472	USD	140,000	4.40% due 2027/7/15 Microchip Technology, Inc. (a)		141,227
USD	75,000	4.95% due 2058/10/15 Concho Resources, Inc. (a)		78,969	USD	80,000	4.33% due 2023/6/1 Morgan Stanley (a), (b)		79,459
USD	45,000	4.88% due 2047/10/1 CVS Health Corp. (a)		45,186	USD	170,000	3.59% due 2028/7/22		165,138
USD	110,000	4.30% due 2028/3/25		110,060	USD	60,000	5.45% due 2049/12/31 (c) MPLX LP (a)		60,075
USD	150,000	5.05% due 2048/3/25 Dell International LLC / EMC Corp. (a), (d)		148,321	USD	90,000	4.70% due 2048/4/15 Verizon Communications, Inc.		82,520
USD	105,000	5.45% due 2023/6/15		110,373	USD	60,000	4.52% due 2048/9/15 Wabtec Corp. (a)		58,671
USD	60,000	6.02% due 2026/6/15 Energy Transfer Operating LP (a)		63,656	USD	60,000	4.15% due 2024/3/15 Zimmer Biomet Holdings, Inc. (a)		59,938
USD	60,000	5.80% due 2038/6/15		61,234	USD	95,000	3.55% due 2025/4/1	92,343	
USD	45,000	6.25% due 2049/4/15		48,292			社債合計	3,637,997	
USD	95,000	6.63% due 2049/12/31 (b), (c) General Electric Co. (a), (b), (c)		86,450			国債 (41.9%)		
USD	170,000	5.00% due 2049/12/31 General Motors Financial Co., Inc. (a)		160,225	USD	960,000	4.00% due 2049/3/1	979,137	
USD	55,000	5.10% due 2024/1/17 Goldman Sachs Group, Inc.		56,214	USD	325,000	4.50% due 2049/3/1	336,696	
USD	35,000	2.60% due 2020/4/23 (a)		34,834	USD	30,000	5.00% due 2049/3/1	31,497	
USD	75,000	3.69% due 2028/6/5 (a), (b)		72,665					

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本		有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本		有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
		Federal National Mortgage Association, TBA (e)			10,576		VanEck Vectors J. P. Morgan EM Local Currency Bond ETF		360,959
USD	975,000	4.00% due 2049/3/1		994,024			米国合計		5,205,837
USD	535,000	4.50% due 2049/3/1		553,662			上場投資信託 (ETF) 合計		5,205,837
USD	105,000	5.00% due 2049/3/1		110,107			(簿価 \$5,109,051)		
		Government National Mortgage Association, TBA (e)					短期投資 (3.0%)		
USD	190,000	4.50% due 2049/3/1		196,620			米国 (1.7%)		
USD	45,000	5.00% due 2049/3/1		46,878			国債 (1.7%)		
USD	160,000	4.00% due 2049/3/20		164,228	300,000		U. S. Treasury Bill ⁽¹⁾		296,767
		U. S. Treasury Bonds					Zero coupon, due 2019/8/8		
USD	135,000	2.25% due 2046/8/15		113,938			国債合計		296,767
USD	105,000	2.75% due 2042/8/15		99,479			米国合計 (簿価 \$296,767)		296,767
USD	80,000	3.88% due 2040/8/15		91,056			グランド・ケイマン		
		U. S. Treasury Inflation Indexed Bonds					(0.0%)		
USD	185,553	1.00% due 2046/2/15		180,157			定期預金 (0.0%)		
USD	274,988	2.50% due 2029/1/15		319,720	EUR	0 ⁽²⁾ -0.57% due 2019/3/1	Brown Brothers Harriman & Co.		1
USD	106,155	3.38% due 2032/4/15		139,666	JPY	46,578 -0.27% due 2019/3/1			418
USD	116,498	3.63% due 2028/4/15		145,383	GBP	6 0.36% due 2019/3/1			8
USD	466,113	3.88% due 2029/4/15		604,521	NZD	55 0.65% due 2019/3/1			38
		U. S. Treasury Notes			AUD	919 0.76% due 2019/3/1			654
USD	160,000	2.00% due 2021/8/31		158,044	CAD	54 0.82% due 2019/3/1			41
USD	1,375,000	2.25% due 2027/11/15		1,328,433	ZAR	1,495 5.14% due 2019/3/1			106
USD	515,000	2.38% due 2024/8/15		510,292			定期預金合計		1,266
		国債合計		7,103,538			グランド・ケイマン合計		1,266
		米国合計 (簿価		13,433,692			(簿価 \$1,266)		
		\$13,729,876)					シンガポール (1.3%)		
		債券合計 (簿価		14,753,595			定期預金 (1.3%)		
		\$15,072,763)					DBS Bank, Ltd.		
口数		上場投資信託 (ETF)			USD	220,734	1.65% due 2019/3/1		220,734
		(30.7%)					定期預金合計		220,734
		米国 (30.7%)					シンガポール合計 (簿価		220,734
9,936		iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF		852,012			\$220,734)		
12,030		iShares JP Morgan EM Corporate Bond ETF		593,560			短期投資合計 (簿価		518,767)
13,875		iShares JP Morgan USD Emerging Markets Bond ETF		1,510,571			投資総額 (簿価	120.7%	\$ 20,478,199
38,489		SPDR Bloomberg Barclays High Yield Bond ETF		1,373,673			\$20,700,581)		
18,957		SPDR Bloomberg Barclays Short Term High Yield Bond ETF		515,062			現金および他の資産を超過	(20.7)	(3,511,467)
							する負債		
							純資産	100.0%	\$ 16,966,732

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

- (1) この証券のすべてもしくは一部が2019年2月28日時点の先物取引の担保として取引相手に差し入れられています。
 (2) 0.5未満

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最善の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

用語集：

TBA To be announced (事後告知) の略。米国政府機関によって発行される不動産ローン担保証券の先渡取引で、合意された将来の決済日に受渡しがされます。

- (a) 償還条項付き証券。
 (b) 2019年2月28日時点の変動金利証券。
 (c) 永久債。
 (d) 144A 証券 - 1933年証券取引法の規則144A の下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関投資家に転売が可能です。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとはみなされません。
 (e) 発行日取引または繰延受渡しベースで購入された証券。

2019年2月28日時点で、以下の先物取引によりブローカーに対し現金 \$24,841の未払金があります。

2019年2月28日時点の先物取引 (純資産の0.2%)

ポジション	銘柄	限月	枚数	評価益 / (損)
Short	U. S. Treasury 10 Year Note (CBT) June Futures	2019年6月	(5)	\$ 1,148
Short	U. S. Treasury 10 Year Ultra June Futures	2019年6月	(29)	19,817
Long	U. S. Treasury 2 Year Note (CBT) June Futures	2019年6月	20	(2,813)
Short	U. S. Treasury 5 Year Note (CBT) June Futures	2019年6月	(6)	1,740
Short	U. S. Treasury Long Bond (CBT) June Futures	2019年6月	(4)	2,722
Short	U. S. Ultra Long Bond (CBT) June Futures	2019年6月	(7)	16,311
				\$ 38,925

2019年2月28日時点のファンドレベルの外国為替先渡契約 (純資産の0.0%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
USD	Westpac Banking Corp.	362,748	2019/4/16	DKK	2,354,200	\$ 2,006	\$ —	\$ 2,006

2019年2月28日時点の通貨セレクトクラス外国為替先渡契約 (純資産の0.0%)

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
IDR	Citibank N. A.	1,485,658,868	2019/3/19	USD	104,398	\$ 1,055	\$ —	\$ 1,055
INR	Citibank N. A.	7,938,404	2019/3/19	USD	110,720	668	—	668
MXN	Citibank N. A.	2,235,465	2019/3/19	USD	114,972	761	—	761
PHP	Citibank N. A.	5,888,937	2019/3/19	USD	112,033	1,696	—	1,696
RUB	Citibank N. A.	7,245,370	2019/3/19	USD	108,268	1,419	—	1,419
TRY	Citibank N. A.	732,768	2019/3/19	USD	136,822	—	(659)	(659)
						\$ 5,599	\$ (659)	\$ 4,940

2019年2月28日時点の円ヘッジクラス外国為替先渡契約（純資産の-0.3%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	843,295,518	2019/3/19	USD	7,641,903	\$	—	\$ (57,300) \$ (57,300)

2019年2月28日時点の円ヘッジN1クラス外国為替先渡契約（純資産の-0.2%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	529,945,704	2019/3/19	USD	4,802,343	\$	—	\$ (36,009) \$ (36,009)

2019年2月28日時点の通貨分散／N1クラスのトータル・リターン・スワップ（純資産の0.0%）

想定元本	取引相手	参照法人	通貨	満期日	評価額
115,183	Nomura Securities Co., Ltd.	Nomura 12 Currency Basket Strategy	USD	2019/3/29	\$ (33)

通貨の略称

AUD	—	オーストラリア・ドル
CAD	—	カナダ・ドル
DKK	—	デンマーク・クローネ
EUR	—	ユーロ
GBP	—	英ポンド
IDR	—	インドネシア・ルピア
INR	—	インド・ルピー
JPY	—	日本円
MXN	—	メキシコ・ペソ
NZD	—	ニュージーランド・ドル
PHP	—	フィリピン・ペソ
RUB	—	ロシア・ルーブル
TRY	—	トルコ・リラ
USD	—	米ドル
ZAR	—	南アフリカ・ランド

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース/円コース/世界通貨分散コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年11月18日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年5月17日～2019年11月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2019年11月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（83,136,472千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年11月18日現在	
	評価額	比率
国内短期社債等	999,997 千円	<1.2> %

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

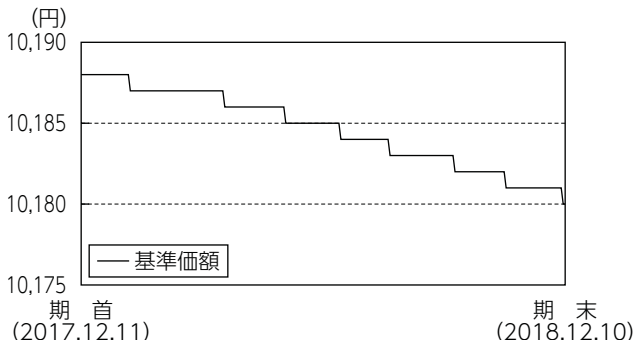
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネー・マザーファンド

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年 1 月末	10,187	△0.0	-
2 月末	10,187	△0.0	0.5
3 月末	10,186	△0.0	-
4 月末	10,186	△0.0	-
5 月末	10,185	△0.0	-
6 月末	10,184	△0.0	-
7 月末	10,184	△0.0	-
8 月末	10,183	△0.0	-
9 月末	10,182	△0.1	-
10 月末	10,181	△0.1	-
11 月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ()

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		当 期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期		末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%		%
国内短期社債等	999,997			<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期		末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%		%
コール・ローン等、その他	80,270,040			100.0
投資信託財産総額	80,270,040			100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)		10,180円

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルI o T 関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルI o T 関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/R I C I *

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実プランスファンド -ハジメの一步- 327,110,605円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、フルペア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML Pファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D Cスマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。